

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人名称) イオンリテール株式会社 中四国カンパニー	住所	(事業所の所在地) 〒 732-0814 広島県広島市南区段原南 1 丁目 3-5 2
本票作成	部署名： 人事総務部 総務グループ		
主たる業種	分類コード 56	業種名： 各種商品小売業	
事業の概要	GMS（総合スーパー）を実施しており、岡山県内では、4店舗営業しています。		
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	イオン倉敷店	岡山県倉敷市水江 1
	②	イオンスタイル岡山	岡山県岡山市北区下石井 1 丁目 2 番 1 号
	③	イオン津山店	岡山県津山市河辺 1 0 0 0-1
	④	イオンスタイル岡山青江	岡山県岡山市北区青江 2-7-1 1
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 <input checked="" type="checkbox"/> 工場等の数 4 所 <input checked="" type="checkbox"/> 車両台数 (②該当の場合) 台		

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 30 年度)	(令和 4) 年度排出量	目標年度 (令和 4 年度)
	11,974 t CO ₂	9,940 t CO ₂	15,900 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 4) 年度排出量
	①	イオン倉敷店	3,207 t CO ₂
	②	イオンスタイル岡山	2,748 t CO ₂
	③	イオン津山店	2,564 t CO ₂
	④	イオンスタイル岡山青江	1,419 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 元 年度	～	令和 4 年度	(4 箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(4) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	17.0 %	△32.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標		関連数値(令和 4 年度)	達成率等
指標の状況	56 各種商品小売業	#N/A	#N/A #N/A	#N/A	

【削減状況の自己評価】

1、当社のエネルギー排出量の大半を占める、電気使用量において、削減目標 昨対 9.6%に対して各店舗全力で取り組み目標以上の成果を上げる事が出来た。特に、照明・照度の調整、冷ケースの商品別温度帯の見直し、省エネチェックリストに基づいた店舗管理体制による省エネ運営管理体制により目標を大幅に達成する事が出来た。
 2、店舗毎に、省エネ対応の事例を持ち寄りその成功事例を他店舗へも水平展開して成果が上がる。

【推進体制】

・当社は、ISO14001を取得しており、環境負荷を低減する様取り組んでいます。
 ・推進体制は、店舗毎に店長がISO推進責任者、人事総務課長がISO推進担当者として配属され、本社・カンパニーフォローの基、省エネ中心に目標達成へ向けた店舗推進体制を構築しています。
 ・本年度は、電気料金高沸の為、電気使用量削減を最大のテーマとして取り組んでおります。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
イオン倉敷店 イオンスタイル岡山 イオン津山店 イオンスタイル岡山青江	(令和4年度実施分) 1、電気使用量削減による省エネ運営徹底・・・2022年度目標(昨対96%以下) ①店内・後方・店舗外の照度見直し。 ②冷ケースの温度見直し(商品毎に温度帯を見直す) ③省エネチェックリストに基づく売場運営の徹底 ④毎月の進捗管理による、従業員の省エネ意識の高揚。 ⑤他店舗の成功事例の水平展開の徹底。 (今後実施予定分) 1、電気使用量削減・・・2023年度目標(昨対92%以下)に22年度実施事項の継続実施。 2、省エネ投資の継続(LED照明・冷ケース・空調の省エネタイプに入替推進。 3、創エネ、再エネの計画的取り組み(2024年以降本格化)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	イオン森づくりとして。2022年度より島根県松江市植樹活動として実施。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	鳥取県 日吉津店にて、大阪ガスと提携の基、RE100を2023年度より取り組む。

【その他特記事項】

【2022年度ISO14001目標】
 1、食品廃棄売変の削減・・・目標 廃棄売変率 0.41以下
 ・AI導入による発注精度の向上や計画的売変使用により平常月の廃棄売変は、減少するが、年末・年始、お盆等の予測の誤差が大きく廃棄売変率 0.47%と未達成に終わるが、反省踏まえ、次年度は、0.41%以下を目指す。
 2、循環型社会推進・・・目標 ペットボトル店頭リサイクル回収量 昨対 102%以上
 ・ペットボトル店頭回収BOXの場所の変更、個数の拡大等重点的に取り組み昨対 103.3%と目標を達成する。